

水の週間関連行事

令和 8 年 7 月 24 日
水管理・国土保全局
水資源部水資源政策課

令和 8 年度水資源功績者が決定

～水資源行政に顕著な功績のあった 1 個人・5 団体の表彰式を行います～

国土交通省は、水資源の開発、利用、水源の涵養等に長年にわたって尽力されるなど、特に顕著な功績があると認められる個人又は団体を表彰する水資源功績者表彰の受賞者（個人：1 名、団体：5 団体）を決定しました。

令和 8 年 8 月 4 日（火）に国土交通省（中央合同庁舎 3 号館 8 階特別会議室）において、表彰式を執り行います。

本表彰は、「水の日」（8 月 1 日）及び「水の週間」（8 月 1 日～7 日）の行事の一環として昭和 54 年より実施しているものです。

【令和 8 年度水資源功績者】※功績概要は別紙のとおり

○個人 … 1 名

・前平取町長 びらとり 川上 かわかみ 満 みつる （北海道推薦）

○団体 … 5 団体

・一本木沢ビオトープ協議会 いっぽんぎさわ （青森県推薦）

・東京都立農業高等学校 （東京都推薦）

・湘南里川づくりみんなの会 しょうなんさとかわ （神奈川県推薦）

・笠野原土地改良区 かさのほら （鹿児島県推薦）

・特定非営利活動法人 バイオマスワークあたらし会 （鹿児島県推薦）

【表彰式】

日時：令和 8 年 8 月 4 日（火）14:00～

場所：中央合同庁舎 3 号館 8 階特別会議室（東京都千代田区霞が関 2-1-3）

次第：主催者挨拶、表彰状授与、記念撮影

【取材について】

報道機関に限り傍聴・カメラ撮り可能ですが、事前の申し込みが必要です。

取材ご希望の方は、7 月 31 日（金）17:00 までに、以下のとおり件名、氏名、所属、連絡先を記載の上、メールにて送付先までお申し込みください。

件 名：令和8年度水資源功績者表彰式
本 文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先
送付先：hqt-water.day81@ki.mlit.go.jp

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

【参考】水資源功績者の活動概要につきましては HP をご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000015.html



「健全な水循環」
ロゴマーク



【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課 満岡、古瀬、橋本
代表：03-5253-8111（内線：31156、31143、31155）
直通：03-5253-8386

令和8年度水資源功績者表彰受賞者と功績概要

[個人]・・・1名

受賞者	功績概要
川上 満 (北海道推薦)	前 平取町長 平成20年に平取町長に就任して以来、在職中12年間にわたり沙流川総合開発事業（平取ダム建設事業）の推進に積極的に協力し、流域の治水安全度の向上及び水道用水等水資源の開発に貢献した。町長自らが行う町民説明会、平取ダム建設促進期成会、北海道日高総合開発期成会において、平取ダムの早期本体工事着工・完了を積極的に訴えた。 また、沙流川流域がアイヌの生活の場であったことを踏まえ、平取ダム地域文化保全対策検討会に委員として参画し、アイヌにとって大切な祈り「カムイノミ」の対象である岩山に関する対策、アイヌ文化の調査・保全・振興対策及びその拠点に関する助言、ガマやカヤ等の各種樹木の保全に尽力した。これらの取組により、ダム建設工事による直接的な影響及び水没により失われるアイヌの伝統的所産の保全・継承・振興に大きく貢献した。

[団体]・・・5団体

受賞者	功績概要
一本木沢ビオトープ協議会 (青森県推薦)	平成11年より、環境教育等を目的とした一本木沢ビオトープの造成に深く関与し、ビオトープ完成後も20年以上にわたり流域の住民や事業者、大学、行政機関、教育機関等と連携を図りながら環境教育及びビオトープの保全活動に尽力している。 一般市民向けの剪定講座を通じたビオトープの樹木管理や企業による草刈り、十和田市内の中学校による保全作業及び環境学習を実施するほか、シンポジウムの開催や、十和田市主催の生涯学習出前講座の講師に登録し保育園や学童保育の小学生を対象とした環境教育に取り組む等、幅広い活動を行っている。

受賞者	功績概要
東京都立農業高等学校 (東京都推薦)	平成20年に調布市と相互連携基本協定を締結し、協定に基づき調布市民を対象とした神代農場公開講座を継続的に実施している。講座では神代農場部の生徒が湧水の仕組みや水循環の重要性について説明を行い、地域住民の身近な自然資源への関心と環境保全意識を喚起している。加えて、調布市環境フェアへの出展を通じ、広く市民に向けた環境保全意識の向上に取り組んでいる。
湘南里川づくりみんなの会 (神奈川県推薦)	平塚市、秦野市、伊勢原市に広がる金目川水系の流域において、設立以来、水資源行政の推進に資する普及・啓発活動を継続している。 金目川水系の状況や流域の活動について話し合うフォーラムには一般市民・他団体・行政職員が参加し、次世代に残すべき里川像や行政との連携等について活発に意見交換が行われた。また、親子向けの川遊びイベントや小学校向けの川の生き物観察会及び河川清掃活動を行う等、子ども達への普及・啓発活動を精力的に行っている。
笠野原土地改良区 (鹿児島県推薦)	平成29年から全国に先駆け、大雨が想定される場合に農業用利水ダムの事前放流を行うことで、下流域の治水安全性向上に貢献している。 また、小水力発電の供用を行い、水資源の有効利用に取り組んでいる。 さらに、ダム湖面を体育大学や地元高校の漕艇競技の練習場として提供しているほか、ダム湖畔の花火大会への協賛を通じて上下流交流人口の増加、憩いの場としての水辺環境保全に貢献している。
特定非営利活動法人 バイオマスワークあつ たらし会 (鹿児島県推薦)	鶴田ダムの貯水池である大鶴湖を探索する遊覧船を運航し、年間数百人が乗船しており、曾木発電所遺構に触れるなどの船上体験を通じた水資源に関する普及・啓発活動を実施している。また、大鶴湖の支流である宮人川では、河川清掃及び木炭設置、宮人川ビオトープの維持管理を関係NPO・流域住民・行政等と協力して行うことで、宮人川の水質改善・環境保全に貢献している。 こうした河川の水質改善やダム湖などの地元の観光資源の活用により、川内川流域の活性化に資する活動を行っている。